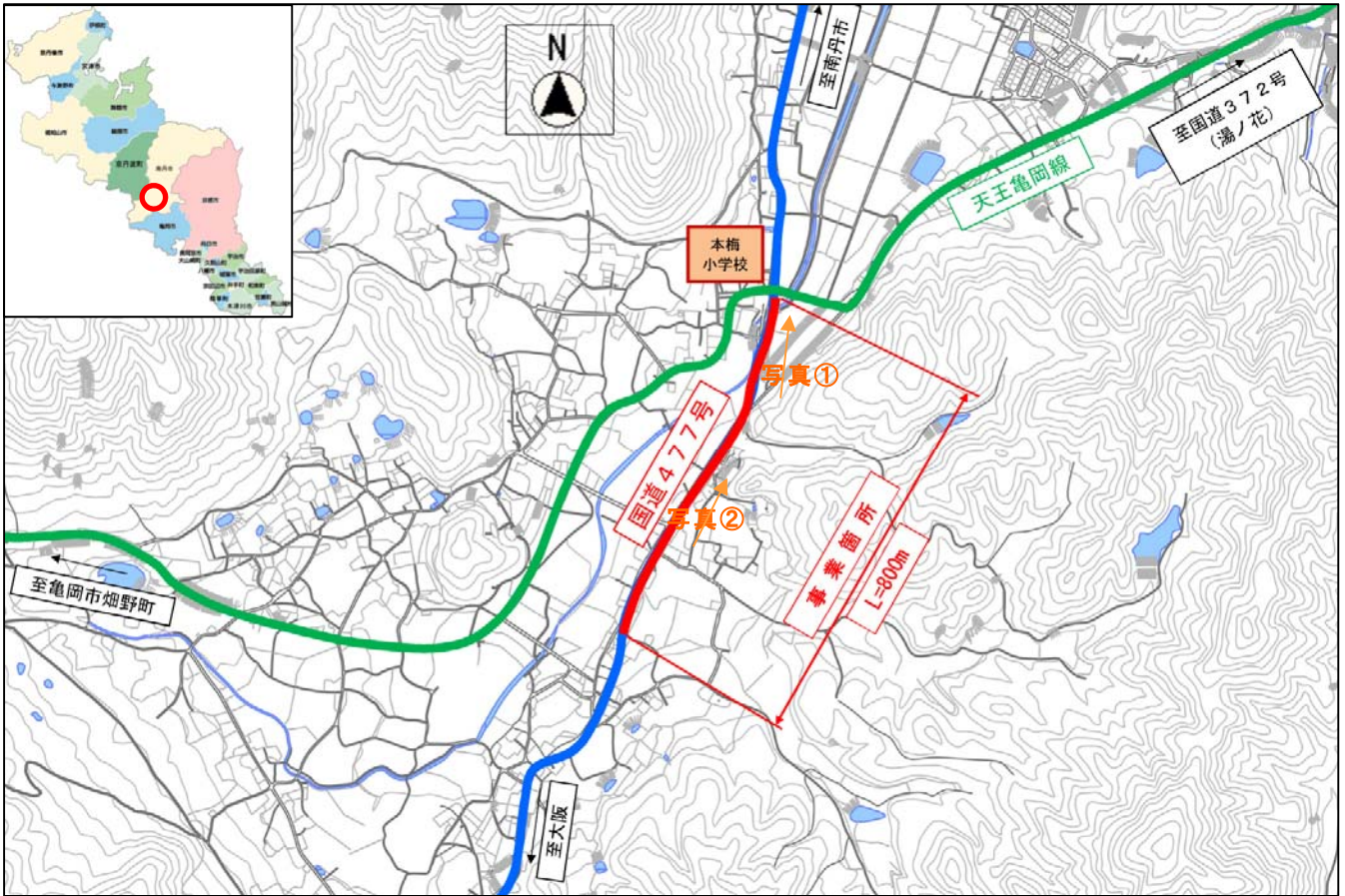


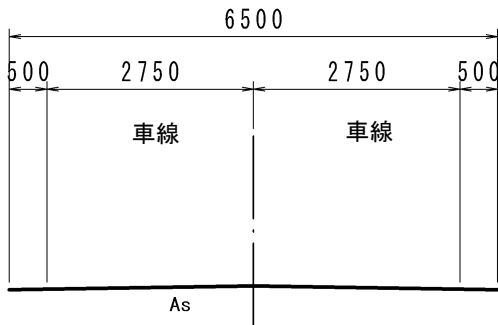
道路事業事前評価調書

路線・河川等名	一般国道477号	事業名	防災・安全交付金事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所(区間)	かめおかしほんめちようひがしかや 亀岡市本梅町東加舎		
事業概要	目的	<p>一般国道477号は、三重県四日市市を起点とし京都市京北町、南丹市、亀岡市を通過し、大阪府池田市に至る、重要な幹線道路である。</p> <p>本事業箇所は、本梅小学校の通学路となっているが、幅員が狭いうえに歩道が未整備であるため、通学時には学童と車両が交錯し、非常に危険な状態となっている。</p> <p>このため、本事業により歩道の整備を行い、歩行者の安全を確保するものである。</p>			
	内容	<p>整備延長：L=800.0m</p> <p>現況幅員：W=6.50m 2車線 歩道 なし</p> <p>計画幅員：W=10.75m 2車線 歩道(片側3.5m)</p> <p>事業費：約3.5億円</p>			
	上位計画等	<p>明日の京都(中期計画)</p> <p>社会資本総合整備計画</p>			
	スケジュール	<p>着手年度：平成26年度 完成目標：平成30年度</p>			
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	<p>○自動車交通量 2,868台/日</p> <p>○自転車交通量 24台/日</p> <p>○歩行者交通量 8人/日</p> <p>○交通量が多い上、道路幅員が狭く、カーブがあるため見通しが悪く、危険な状態にある。</p> <p>○現況は歩道がなく歩行者や自転車が車道を通行しており危険な状態である。</p>			
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	<p>○車道を拡幅することにより、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>○歩道を整備することにより、歩行者等の安全性を向上させる。</p> <p>○バリアフリー構造の歩道とし、誰もが安心・安全で円滑に移動できる歩行空間を確保する。</p>			
事業の効率性等	コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	<p>○歩道を設置し、車道を拡幅することにより、歩行者及び自動車の双方に対する交通環境が改善される。</p> <p>○二次製品の使用を促進しコスト縮減を図る。</p>			
総合評価	<p>本事業は、歩行者等の安全性の向上を図るために、新規着手の必要がある。</p>				

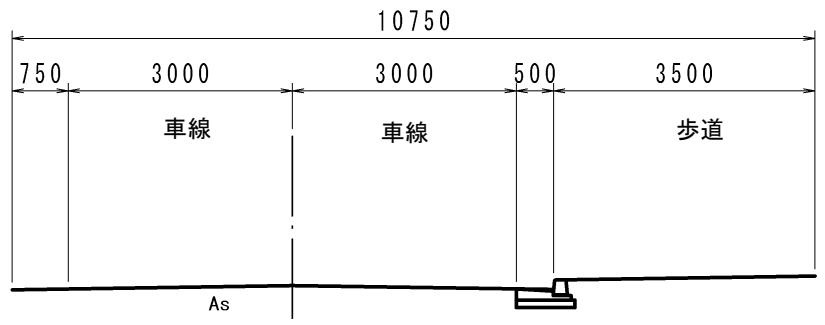
【位置図】



【現況横断面】 (単位mm)



【計画横断面】 (単位m)



【現況写真】



写真①

(歩行者と車両が接近し、危険な状態)



写真②

(歩道が未整備で車道幅員が狭い)